

FBI 総合馬術競技 3スター(3*) 2009 馬場馬術課目 B	CCI***/CIC*** B
参考時間:入場から最後の敬礼まで一約4分45秒	

競技会名	日付	審判員名	審判員位置	
------	----	------	-------	--

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見
1.		A 収縮駆歩で入場 I 停止、敬礼 収縮速歩で発進 C 左手前蹄跡に入る	整正、リズムと真直性 停止、移行 コンタクトと項の位置	10		
2.		HE 左肩を内へ	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
3.		EF 斜め手前変換、中間速歩 FAK 収縮速歩	整正、リズム、弾発 回転時のバランスと 歩巾とフレームの伸展	10		
4.		KE 右肩を内へ	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
5.		EM 斜め手前変換、中間速歩 MCH 収縮速歩	整正、リズム、伸縮性 回転時のバランスと 歩巾とフレームの伸展	10		
6.		HXF 斜め手前変換、伸長速歩	歩巾の伸長と運歩の整正 バランスとフレームの伸展	10		
7.		伸長速歩へと伸長速歩からの 移行 FA 収縮速歩	リズム、 伸長速歩へと伸長速歩からの際の 後肢のエンゲイジメント	10		
8.	A後のクォーターラインで	A通過後にクォーターラインに 入り、DK間より 反対側のXB間のクォーターラインへ 右へハーフパス	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と流暢さ、 肢の交叉	10		
9.	クォーターラインで	反対側のGH間のクォーターラインへ 左へハーフパス 収縮速歩 右手前蹄跡へ	右へのハーフパスから 左のハーフパスへの移行	10		
10.		CM 中間常歩 MSB 斜め手前変換 伸長常歩	整正、活発さ、背の柔軟 伸長常歩の歩巾とアウトラインの伸展 肩の自由さ	10		
11.		E 中間常歩 X 左へ回転 停止、不動	中間常歩 停止時のエンゲイジメントと不動(2-3秒)	10		
12.		5歩後退 ただちに止まることなく 左駆歩発進 XBMC 収縮駆歩	後退の正確さ、運歩の整正 バランスとハミ受け	10		
13.		CL 蛇乗り2彎曲 最初は正駆歩、 2彎曲目は反対駆歩 両長蹄跡に接する	正確さ、バランス、運歩の整正と 駆歩の質	10		
14.		LVK 収縮駆歩 KD 左へ直径10mの半巻き乗り 蹄跡上Eへ戻る DE間で踏歩変換 ES 収縮駆歩	半輪乗りの正確さと駆歩の質 扶助に従った踏歩変換、従順性 後肢のエンゲイジメント、アップヒル傾向 真直性	10		
計				140		

FEI 総合馬術競技 3スター(3*) 2009 馬場馬術課目 B	CC]***/CIC]** B
参考時間:入場から最後の敬礼まで-約4分45秒	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

計				140		
		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見
15.		S 右へ20mの輪乗り 中間駢歩	駢歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展	10		
16.		SHC 収縮駢歩へ移行	中間駢歩から収縮駢歩への移行	10		
17.		CL 蛇乗り2彎曲 最初は正駢歩、 2彎曲目は反対駢歩 両長蹄跡に接する	正確さ、バランス、運歩の整正と 駢歩の質	10		
18.		LPR 収縮駢歩 FD 右へ直径10mの半巻き乗り 蹄跡上Bへ戻る DB間で踏歩変換 BMC 収縮駢歩	半輪乗りの正確さと駢歩の質 扶助に従った踏歩変換、従順性 後肢のエンゲイジメント、アップヒル傾向 真直性	10		
19.		CH 収縮駢歩 HK 伸長駢歩	駢歩の質、インパルジョン、 アップヒル傾向 歩巾とフレームの伸展	10		
20.		伸長駢歩へと 伸長駢歩からの 移行 KA 収縮駢歩	伸長駢歩へと収縮駢歩に戻る際の リズムと後肢のエンゲイジメント 真直性	10		
21.		A 中央線上に入る 収縮駢歩 L 停止、不動、敬礼	駢歩 中央線上での真直性 停止と敬礼時の不動	10		
手綱を伸ばした常歩でAより退場						
小 計				210		
	総合観察			最高点	採点	観察所見
22.	ペース	自由自在に变じ、かつ整正であること		10		
23.	インパルジョン	馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後肢のエンゲイジメント		10		
24.	従順性	注意力と従順、運動の軽快性及び無理のなさ、 正しいハミ受けとコンタクト		10		
25.	騎手	騎手の姿勢と騎座、扶助の正しい使用とその効果		10		
合 計				250		

要求されている収縮の程度は、課目に規定されている運動を無理なく流暢に行なえるものであれば十分である。

**減点すべきもの:** 運動課目の誤りと運動を抜いた場合

1回目 = 2点減点.....

2回目 = 4点減点.....

3回目 = 失権

合 計

注1:運動項目に「軽速歩」とない限りは尋常、中間・伸長速歩は「(座った)速歩」で実施されなければならない。

注2:\*\*/\*\*\*\*運動課目においては拍車は必須である。

注3:\*\*/\*\*\*\*運動課目においては水勒と同様に大勒も可。

審判員署名